リトリート・ラインについて ＜U-8＞

2026年3月21日(土)

世田谷少年サッカー連盟

リトリート・ライン導入の目的

【導入目的】

●サッカーを始めたばかりの選手たちに、段階的に8人制のルールを理解してもらうための**前段階**とする。

●ゴールキック問題への**解決策**

1. 過度なプレッシャーから回避（キック力がない子たちへの対応）
2. GKと一緒にプレーすることを覚えてもらう
3. ビルドアップを覚えてもらう
4. 速いリスタートを覚えてもらう

背　景

【GK問題】

□ゴールキック問題に対応できず、 GKが嫌になる選手が多い。	▶	■GKが**好き**になるきっかけにしたい。
□トレセンGKもスローやキックで つなぐなど状況判断が出来ない。	▶	■柔軟な対応、**状況判断**が 自然に出来るようにしたい。
□体格が優れている選手は力任せに キックをすることで対応してしまう。	▶	■バックパスからの縦パスなど **繋ぐ判断**を生み出したい。
□セービング能力はあるが、 ゲームの流れを読む力が低い。	▶	■セービング**技術**とFPの**要素**の 両方を伸ばしていきたい。

ピッチサイズ

- **ゴールサイズ**　縦:1.8m、横:2.5m ※ハンドボールゴール
- **ピッチサイズ**　縦:37m、横:22m ※会場により対応

※J&Sフィールドは縦42m、横22m　これになるべく近づけてください

- **リトリート・ライン**　各ゴールラインから8m
  - ✓ リトリート・ライン内が**ペナルティエリア**
- **センターサークル**　半径3m
- **ペナルティマーク**　リトリート・ライン上(8m)
- **交代ゾーン**　センターライン左右3m
- FK・CK時は5m離れる、**キックイン時は2m離れる**

リトリート・ライン採用する判断

【一番最初に理解してほしいこと】

GKがボールをリトリートライン内で**保持**している時にこのルールは採用されます。※リトリートライン外では採用されません

保持の定義：

・ゴールキック時

・GKがバックパスを受けたとき必ずリトリートライン内で味方はパスを受けなければならない

・ボールをキャッチした時

・GKが1タッチでクリアは可。但しハーフラインをノーバンで越えたら相手ボール。

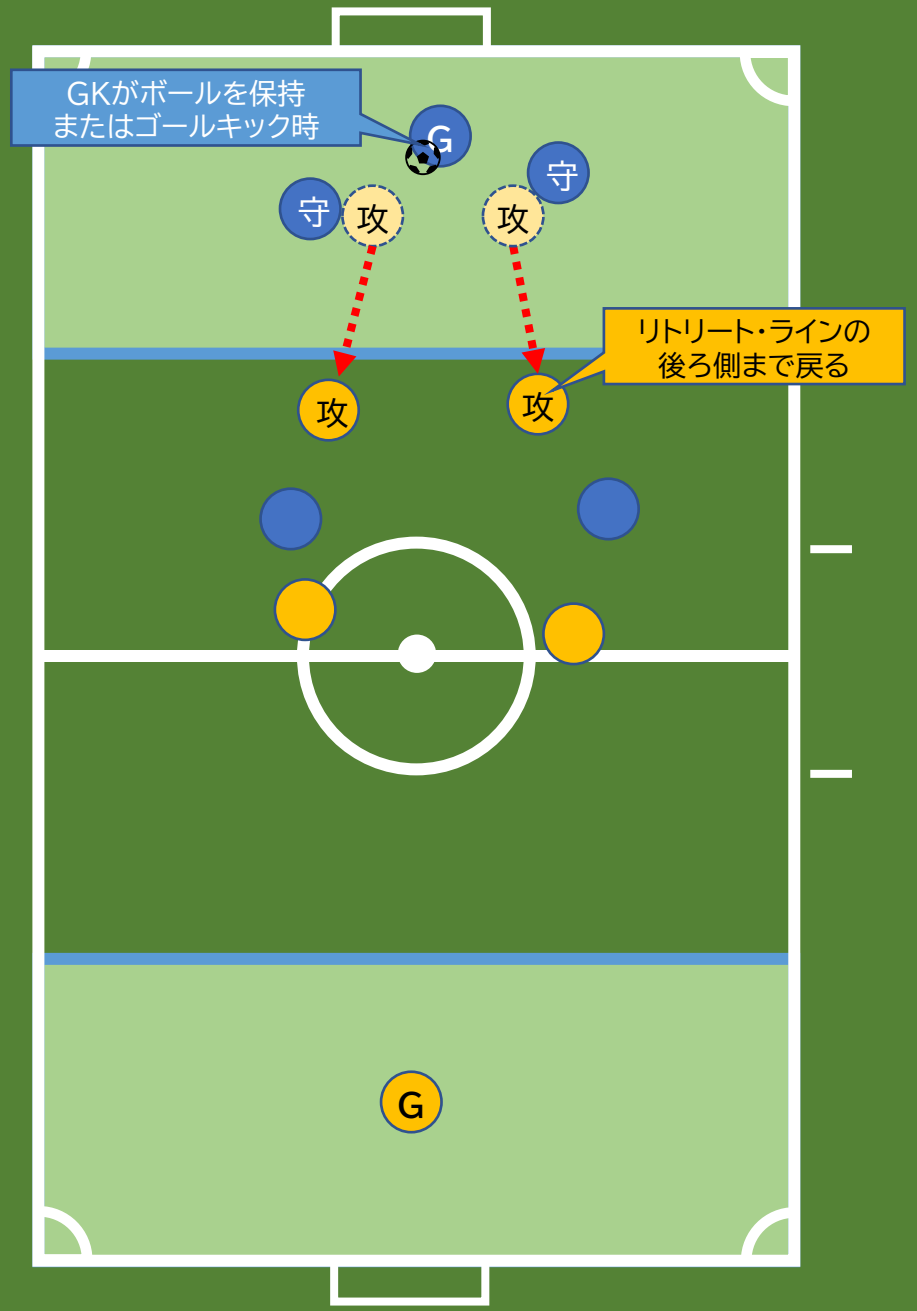
越えたライン上から再開

【U-8リーグ リトリート・ライン ルール ①】

- ゴールキック時とGKがボールを保持した時(キャッチもしくはバックパスを受けた時)、攻撃側選手はリトリート・ライン外側まで戻らなければならない。
- GKがボールを保持した時、守備側チーム選手は必ずリトリート・ライン内側でGKからパスを受けなければならない。(ラインを越えるキック不可)
- 守備側チームの選手がGKからパスを受けたら、攻撃側チームの選手は1名がリトリート・ラインを越えてボールを奪いに行くことができる。
- リトリート・ラインを越えた攻撃側選手がボールを奪ったら攻撃側チームの選手全員がリトリート・ラインを越えて攻撃することができる。

【U-8リーグ リトリート・ライン ルール ②】

- リトリート・ライン内にいる守備側チームの選手がリトリート・ラインを越えたら攻撃側チームの選手は人数制限なしでボールを奪いに行くことができる。
- ペナルティエリアはリトリート・ラインと兼用。（PKはリトリート・ライン上から）
- ボールがタッチラインを割ったときはタッチライン上からキックインで再開。
- ゴールキックはリトリート・ライン内側からGKが行う。
- 得点後はセンターサークルにて再開
- **GKが（味方から）バックパスを手で取った際、その場から間接FK**



GKがボール保持した時の位置

■ ゴールキック時とGKがボールを保持した時（キャッチもしくはバックパスを受けた時）、攻撃側選手は守備側のリトリート・ライン内から出なければならない。ゴールキック時も同様。

GKがボールを保持した後の相手選手の位置

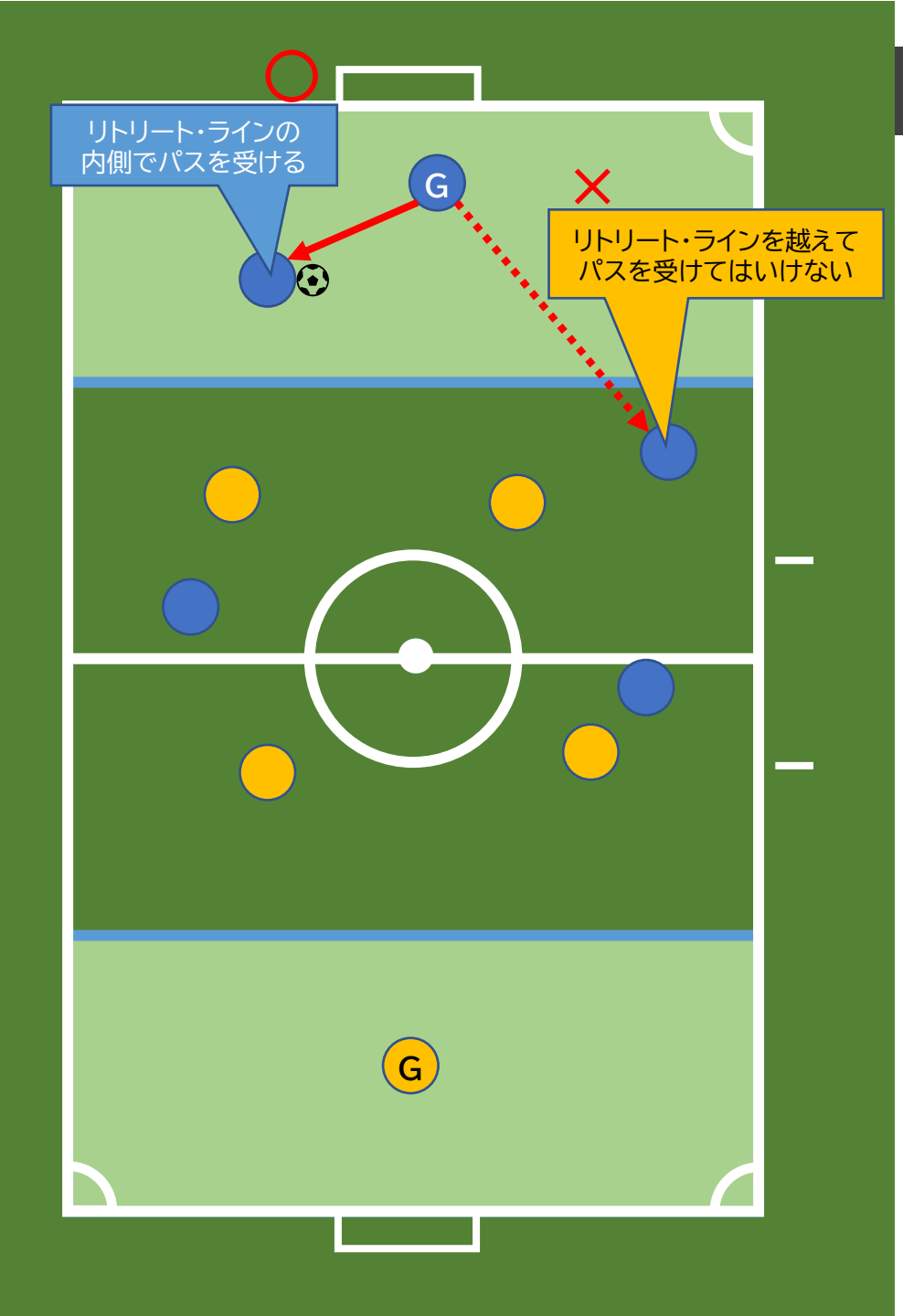
青チームのGKがボールを保持した場合（ゴールキック時も同様）、黄チームの選手は相手コートのリトリート・ライン後ろ側まで戻る。

違反時の対応

リトリート・ラインを越えている選手にラインの後ろ側に出るように声掛けをする。リトリート・ラインを越えている状況でプレーが継続しても、プレーに影響がなければそのまま続ける（クィックスタート時など）。違反があってプレーを止めた時は青チームのGKから直前のプレーと同じ方法で再開。

リトリートライン外ではこれらは発生しません

GKからのボールを受けられる位置



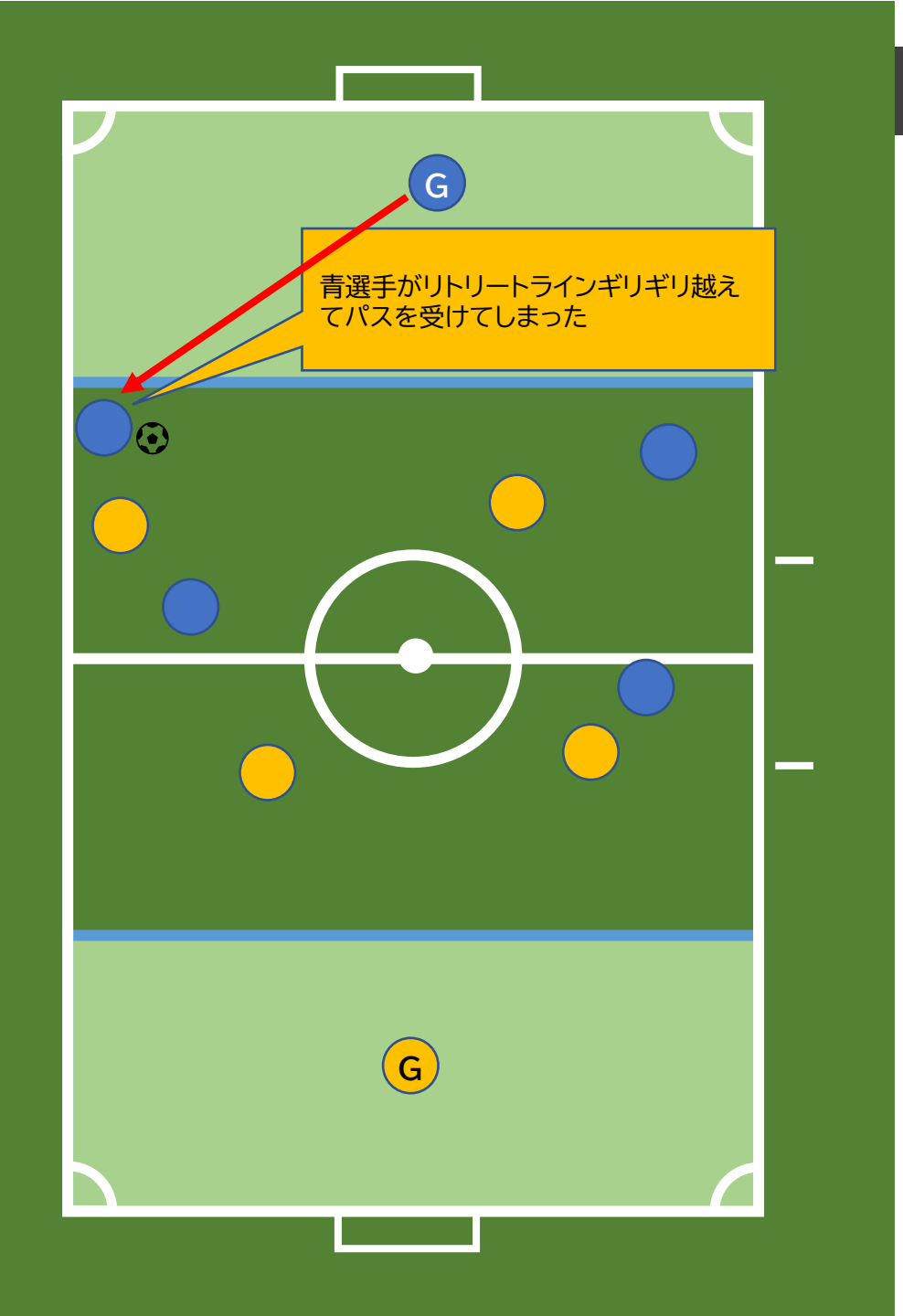
■ GKがボールを保持した時、GK側チーム選手は必ずリトリート・ラインの内側でGKからのパスを受けなければならない。

GKがボールを保持後の味方選手のパスの受け場所

青チームのGKがボールを保持した時、味方チームの選手は自陣のリトリート・ライン内側でパスを受けなければならい。

違反時の対応

違反があってプレーを止めた時、青チームのGKから直前のプレーと同じ方法で再開。(ゴールキックまたはバックパス等によるGKのボール保持の状態)



リトリートラインを越えた場合について

■ GK側チームの選手がGKからパスをリトリートラインギリギリ越えてパスを受けてしまった

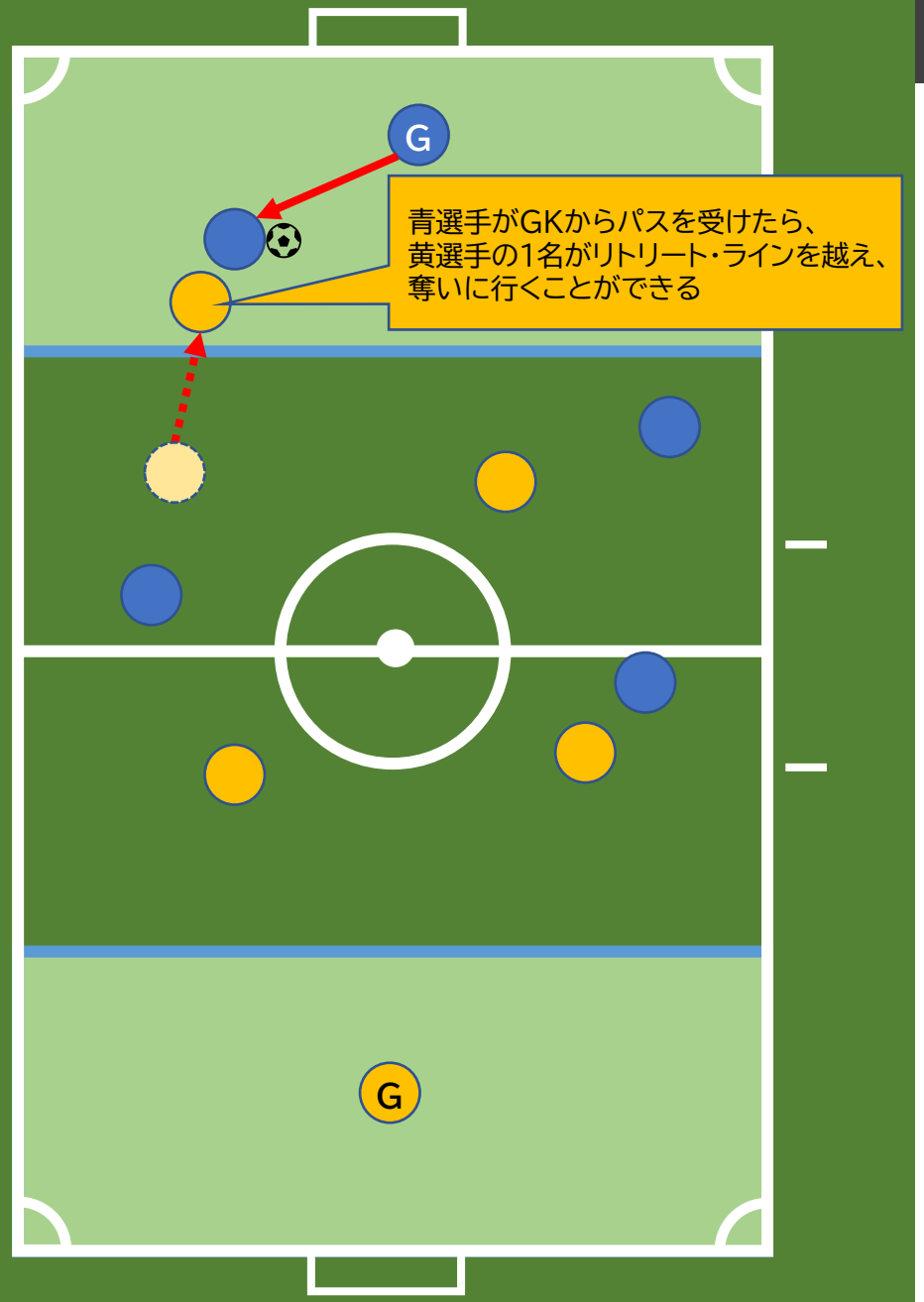
ギリギリの場合、青チームがそのまま攻撃を続けることができるのであればそのままプレー。しかし、ボールを奪われる等プレーが失敗した際はもう1度GKからプレーを再開する。

リトリートラインを厳しく取り締まることが目的ではない

ギリギリについて

大切なのはGKからパスを受けてプレーが成立しているかどうかの判断を主審がしっかりと判断をする。
相手チームベンチは主審のアドバンテージについて判断を尊重する。
審判の育成にもつながります。

リトリート・ライン内の侵入可能条件



■ GK側チームの選手がGKからパスを受けたら、相手側選手は1名がリトリート・ラインを越えてボールを奪いに行くことができる。

相手側選手がリトリート・ライン内に入ることができる条件

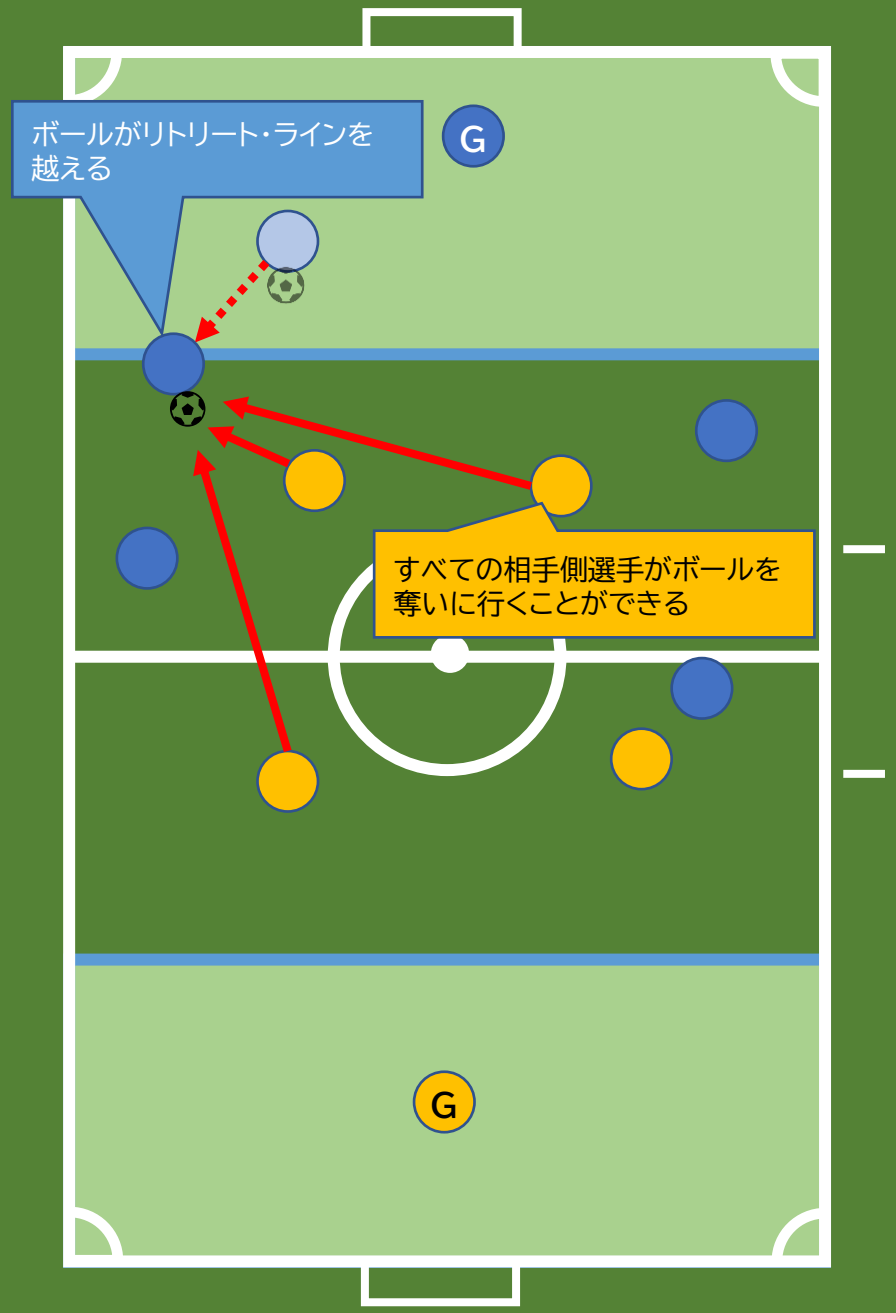
青チームの選手がGKからパスを受けたら、黄チーム1名がリトリート・ラインを越えることができ、黄チームの選手がボールを奪った時点で黄チーム全員がリトリート・ラインの内側に入ることができる。

違反時の対応

次の違反の場合、青チームのGKから直前のプレーと同じ方法で再開。
（違反があったとしてもその後のプレーに影響がない場合はそのままプレーを続ける）

- ✓ 青チームのパス成立前に黄チームの選手がリトリート・ラインを越えてプレーに影響を与えた場合
- ✓ パス成立後（ボールはリトリート・ライン内にある状態）、黄チームの選手2名以上がリトリート・ラインを越えた場合

通常のプレーが開始される条件



■ ボールがリトリート・ラインを越えたら、
全ての選手がボールを奪いに行くことができる。
（プレーに関する制限が解除される）

<u>プレーの制限がなくなる（＝通常のプレーが開始される）条件</u>

ボールがリトリート・ラインを越えた時点（ドリブルまたはパスなど）で黄チームの選手は人数制限なしでボールを奪いに行くことができ、通常の（＝制限のない）プレーが開始される。

その後、再びボールがリトリート・ライン内に入ったとしても、GKがそのボールを保持する状態にならない限り、通常のプレーが継続される。

リトリート・ラインルールのまとめ

状況	攻撃側（黄チーム）	守備側（青チーム）
守備側GKがボールを保持	リトリート・ラインの外側まで 選手全員が出る	リトリート・ライン内側で パスを受ける （内側の人数制限なし）
ゴールキック時 （ゴールキック側を守備側とする）		
守備側GKがボールを保持した後、 パスが成立した時	攻撃側選手の1人が リトリート・ラインを越えて ボールを奪いに行ける	制限なし
ゴールキック後、パスが成立した時 （ゴールキック側を守備側とする）		
リトリート・ラインの内側で攻撃側選手 1名が守備側選手のボールを奪った時	制限なし	
パスが成立した後でボールが リトリート・ラインを越えた時		

観戦マナーのご協力をお願いします

・指導は指導者に任せましょう
・保護者は子どもたちの応援を
・子どもたちに指示を出さない
・審判に文句を言わない

U8リーグ参加チーム同士でこれらを意識していきましょう

過度なマナー違反を見受けられた際は事務局までご報告ください

以上